



▲相談を受ける垣内さん（左）と吉田さん（右）

行政相談は、国が公平・中立な立場で行政サービスに関する苦情や意見、要望、問い合わせなどを受け付け、その解決や実現に向けて助言や働きかけを行うとともに、行政の制度・運営を改善することを目的としているものです。

市の行政相談委員は、垣内登紀子さん（☎7245）と吉田伸吾さん（☎857773）のお二人です。偶数月に開催していますので、お気軽にご相談ください。

4月14日（金）、登別郵便局で総務大臣から委嘱された行政相談委員による『一日行政相談』が行われました。

一日行政相談

皆さんの声を行政に届けます

4/14

4月11日（火）、郷土資料館敷地内に子どもの健全な成長を願い、こいのぼりが設置されました。

色とりどり、大きささまざまな100匹のこいのぼりは、市内企業の協力を得ながら、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』が中心となり手際よく設置されました。強い春風のなか、こいのぼりたちは、郷土資料館と樹木の間を縫うように元気に泳ぎだしました。

こいのぼりの設置は『こどもの日』である5月5日（金）までとなっていますので、ぜひご覧ください。

大空高く元氣よく

100匹のこいのぼり

4/11



▲郷土資料館に春の訪れを告げるこいのぼり

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



春の訪れと共に 各施設で来場者を歓迎

『カント・レラ』『キウシト湿原』オープン

冬期間に閉館・閉園していた市内の施設が、オープンしました。

4月1日（土）には、『カント・レラ』がオープン。この施設は、市内の遺跡から出土した土器や石器などを展示しているほか、勾玉作りや火おこし体験ができるなど、縄文文化を見て体験できる施設となっています。

11月30日（木）までの10時から17時まで（11月は16時まで、原則月曜日が休館日）開館しています。

また、4月15日（土）には、環境省の『日本の重要湿地500』に選定されている『キウシト湿原』が開園しました。この日は38人の方が来園。富士町から来た山下峻二さんは、「オープンするのを心待ちにしていました。来る時期によって多様な動植物が見られるので、昨年は月に1回程度来ていました」と話し、ミズバショウなどを写真に収めていました。

キウシト湿原は、11月19日（日）までの9時30分から17時まで（原則月曜日が休園日）開園しています。湿原内のガイドなどを行っている『NPO法人キウシト湿原・登別』のメンバーの方は、「5月には、エゾサンショウウオなどの希少な生き物のほか、ミズバショウなどのきれいな花を見ることができそうですので、ぜひお越しください」と話していました。



▲縄文文化の展示と体験が楽しめるカント・レラ（写真は内部）



▲『NPO法人キウシト湿原・登別』メンバーの案内のもと、湿原内の木が水を吸い上げる音を聴診器で聞く来園者

4/15